



2月歳時記

月詠子

「如月(きさらぎ)」は、重ね着をするという意味「衣更着」が由来と言われている和風月名です。寒さが一層厳しくなる2月を、文字と音の響きの美しさで見事に表しています。この月の風物詩と言えば、古き時代と新しき時代を象徴するかのよう行事二つです。

その一つ「節分」は、字の如く季節の分かれ目である立春、立夏、立秋、立冬の前日を指します。本来なら1年に4回あるのですが、冬から春に変わる節分は特別にめでたい日とされました。旧暦では春が新年と考えられていたため、年賀状に迎春や新春という言葉が使われているのはこのためです。昔は、季節の変わり目には邪気が入り込みやすいと言われてきました。邪気の家来である鬼を追い払うため、節分に「豆まき」をするようになったのが今も春を待つ行事として定着しました。「豆を炒る」が「魔目を射る」に通じて、煎った大豆をまいて鬼を追い払うのです。一夜明けた立春は、1年の始まりとされたので、この日を起算して考えるのが八十八夜や二百十日です。近年流行りの恵方巻の恵方は、吉方と呼ばれる、その年の福徳をつかさどる「歳徳神」という神様が在る方角とされています。コンビニやパート商戦にあやかりながら、願い事をするのも悪くはありません。余談ですが、雛人形を飾る日に決まりはありません。でも、節分の豆まきで厄を払った立春から2月中旬の大安、友引の日がよいとされています。ちなみに、「雛人形をしまうのが遅くなるとお嫁にいけない」というのは、言うまでもなく、ただの迷信です。「片付けが出来ないようでは、きちんとした女性になれない」というしつけの意味をこめた情操教育の一つです。それなら早く片付けようと3月4日に雛人形をしまうのは禁物です。この日は送り節句といって祭事ですから、縁起が悪い事になります。

東が節分なら、西はバレンタインデーでしょうか。バレンタインの歴史は、西暦269年2月14日、ローマ皇帝クラウ*



2月の誕生花 梅



花言葉

「上品」「高潔」「忍耐」「忠実」この花言葉は学問の神様である藤原道真にまつわる伝説が由来。道真が太宰府に左遷されたとき、大切に育てていた庭の梅の木が主人を思うばかりに、ひとりで太宰府まで飛んでいったという伝説から、梅の花には「忠実」という花言葉がつけられたといわれる。

*デイウス2世が結婚を禁じたのに反抗して処刑された聖人ヴァレンティヌスを祭る日に由来していると言われている。皇帝は、若者の戦意が喪失するのは、家族や恋人がいるせいだとして、結婚を禁止しました。そんな状況の中、ヴァレンティヌスは、皇帝に秘密で、若者のために結婚式をとり行っていたのです。それを知った皇帝は、二度と法に背かないよう命じましたが、ヴァレンティヌスは従わなかったため処刑されてしまいました。その結果、後世、ヴァレンティヌスは恋人の守護神として広く知られるようになりました。日本ではじめてバレンタインデーが紹介されたのは、1936年2月12日発行の新聞広告だそうです。神戸のチョコレート会社の甘いマーケティング戦略が、またたく間に広がりました。ただし、この日にチョコレートを贈る文化は日本特有のもの。1960年頃から、チョコレート会社のごぞつてキャンペーンを開催し、義理チョコまでもが正々堂々と飛び交う有様でした。さすがに最近では落ち着きを見せ、バレンタインデーも多様化の時代になりました。かつての義理チョコは、コスパ重視、見返り期待というシビアな面もちらほら。友チョコ、ファミチョコ、世話チョコ、自分チョコなどに姿を変えつつあります。しかも、自分へのご褒美は予算をいとわれないようです。かつては、好きな人に愛を告白する日だったバレンタインデーの意味合いは薄れてきました。とは言っても、腕利きのバイヤーが集めてきた世界のチョコレートが一堂に会するので、チョコレート好きにはたまらない日々が続きます。

ワゴンコインサロン

まつばらんどでは、二月から毎月第四月曜日は、ワゴンコインサロンを実施します。コロナ対策を十分に講じ、定員五名様程度にて、自己紹介やフリートークで毎回、二時間程度楽しく語らいあう交流会を開催予定です。コロナ禍、イベントや習い事などの集まりが減ってしまっている、人と話す時間が減っていませんか？ 基本は予約制とさせていただきますが、飛び入り、途中退席可の自由参加です。お気軽にご参加いただけます。ために一度お立ち寄りください！

まつばらんど サロン
2/21(月)
13:00 ~ 15:00
予約優先!
出入り自由で
途中退席可の
自由参加です!!
担当 大川内
お茶とお菓子付き
会場:まつばらんど
毎月第四月曜 午後開催

まつばらんど 行事回顧録(5)

十一月十四日にアマチュア落語家三名をお迎えし、第二回「まつばらんど寄席三人会」を開催しました。お三人は、普段は第二の人生を楽しんでおり、お声がかかればどこへでも気軽に出かけ自慢の「お題」で噺をされています。第一回の今回は人情噺をテーマにユーモアで少しホロっと来る涙りをご披露いただきました。大好きなお酒があればお代はいりませんとのことで閉会後はスタッフと店内で、少しお酒を飲んでの反省会でした。好評につき次回も四月ごろの開催を予定しております。



空き地・空家の利活用
無料査定
無料相談随時受付中
株式会社 テイルウインド じもと・不動産
神奈川県知事免許(3)第26793号
TEL: 045-620-0248

相続・贈与・信託・空家 不動産問題は専門家へ

【予約制】 無料相談随時受付中
超高齢化や核家族化が進む中において、自分たちで今、解決しておかなければ課題はたくさんあります。①相続で困っている②遺言書を作りたい③生前贈与をしておきたい④税金問題⑤施設入居や転居に伴う自宅処分の方法⑥地主・貸主とのトラブルの地方にある空き家で困っている等々…。これらの問題に専門家が親切に応じてくれます。まつばらんどでは、弁護士、司法書士、税理士、不動産コンサルタントなどの専門家と提携しこれら幅広い問題の相談解決に当たっています。この機会にぜひご相談してみたいかががです。

ご相談予約は下記まで
いつでも
お気軽にご相談ください
弁護士 古西達夫
司法書士 堀江直樹
相続・不動産コンサルタント 古垣直久
税理士 山家一洋
相談窓口:まつばらんど
ご予約 : 045-459-6088
受付時間: 午前10時~午後4時
(水曜・木曜除く)

随想 おばあちゃんの家

築四十五年の祖母の家。私の生まれる前からあるいえ。大学生の頃、一年間住まわせてもらった家とどうしてお別れする時が来ました。おばあちゃんのおかげか、なんだかちょっと時間が止まったような場所でした。私の住んでいたのは、たった一年間だったけれど幼い頃の思い出もたくさん。おじいちゃんが握りこたつを丁寧に掃除していた姿、おじいちゃんが握りこたつを丁寧に掃除していた姿、おばあちゃんの炊いてくれるご飯がすごく美味しかったこと、出してくれるタオルがふわふわでいい香りがしたこと。破れた襦の穴を隠すのにプリクラを貼ってくれたこと。おじいちゃん、おばあちゃんとのいろんな場面が出てくるこの家があるのは、やっぱりさみしいです。私が見ていたのはほんの一部分だけど、丁寧な暮らしがこの家にはあったような気がします。

さよなら おばあちゃんの家。投稿 井村憲治



【投稿記事大募集】 読者の皆様の投稿をお待ちしております。趣味や体験談、俳句などジャンルは問いません。ペットのお写真も大歓迎です！採用の場合はご連絡いたします。メールまたはFAXにて！直接お持ちいただいても構いません!! FAX:045-459-6088

街かど談話室
まつばらんど
本誌掲載セミナーやイベントのお問合せ
お申し込みは下記まで!
TEL 045-459-6088
または ma2baland@gmail.com
(受付時間:10:00~16:00) 水曜・木曜定休
*開催するすべてのイベント等は、コロナ感染症対策を講じておこなっております。



発行:「街かど談話室」まつばらんど 横浜市保土ヶ谷区宮田町1-8-1 川元ビル1階
発行責任者:古垣直久

転機を迎えた

「ふるさと納税」のありがた

よく耳にする「ふるさと納税」という言葉ですが、制度開始から十三年が経過しました。制度当初は故郷を出た人たちが生まれ育った「故郷」に寄付することで都会と故郷である地方の財政の格差を是正しようという考えで2008年に始まったのです。

実施段階になって「ふるさと」を単に出身地に限らず、過去に旅で滞在して人情に触れ好きになった街、ニュースで見聞きし興味を持った街など広くとらえ自分が寄付したい自治体を選ぶようにしました。

当初はあまり制度が認知されておらず「ふるさと納税」が増したのは、2011年の東日本大震災の後でした。従来は災害などが発生すると被災地へ日本赤十字やマスコミ機関を通じた募金や義援金という形で支援が一般的でした。

「ふるさと納税」は返礼品がもらえることもあり、以後はこの制度を使った支援の動きが高まりました。更に2015年から制度拡大が図られ税制控除もできるようになったことで一気に利用者が増加しました。自治体も多くの「ふるさと納税」を募ることに躍起になり換金性のあるギフト券や、返礼率30%を超える返礼品などを掲げました。このような行き過ぎた点が問題視され2019年に所管の総務省が返礼品の規制を強化し、具体的には返礼品は地場産品に限り、商品券などが禁止されました。

逆に地場産品に限定したことで自治体も地場ブランド品の開発を目指し地域起こし効果につながるという現象も発生しました。

さらには自治体からも返礼品ではなく自治体のプロジェクトに寄附という形で参加してもらう「クラウドファンディング」という新しい形の選択肢も出てきています。

編集長 古垣直久



小川さんちの 健太くん
年齢: 2歳 10か月
特徴: 人間みたいに表情が豊か場の空気も読める平和主義者!
困り事: ドックランでは、ストーカーに変貌する困ったくん...
主人の一言: とにかく飽きないです!



神奈川の旧東海道を歩く(第二回)

国内旅行業取扱管理者 河内 恒雄

川崎宿から神奈川宿へ

川崎宿 川崎宿は多摩川を渡った袂から京急八丁畷あたりまで現在のJR川崎駅あたりを中心に本陣二つといくつかの脇本陣をそなえ大きく栄えた宿場町でした。残念ながらそれらの建物は残っていませんが記念碑などで往時が偲べれます。

八丁畷 商店街を進むと、京急八丁畷駅に出ます。その手前には、俳聖芭蕉が故郷伊賀に戻るにあたり曾良ら弟子たちと別れた場所として記念碑が建てられています。(芭蕉はその旅の最中に亡くなりました)

鶴見 八丁畷で京急線とクロスし道は進みます。鶴見川を渡り、京急鶴見駅で再び線路の東側に戻ります。その先、第一京浜を横切りJR鶴見線国道駅を右手に見ながらガードをくぐると旧生麦村です。

生麦 かつての漁師町でもあり魚河岸通りと呼ばれ今でも表通りだけでなく何軒もの魚屋が朝早い営業を行っている。その先には、歴史に有名な生麦事件現場、今は静かな住宅街の



一面ですがありませんが案内板と共に碑が立っており、歴史に思いを馳せると感じられるところもあるかもしれせんね。
神奈川宿 第一京浜国道と合流した後京急神奈川駅に向かう宮ノ前商店街あたりから神奈川宿です。広重の浮世絵にある通り当時は現在の横浜駅あたりはまだ一帯海で、大きな橋で線路を跨いで、一時アメリカ領事館が置かれた本覚寺の裾を巡り「大きく迂回する形で、台町、軽井沢町へと続きます」

随想「年の初め『思いつく』」



「ジヤネーの法則」というのをご存知ですか?この法則は簡単にいえば「年月の長さは(物理的には皆変わらないのに心理的には)年少者にはより長く、年長者にはより短く」感じられるという法則です(細かいことは省かせて下さい)。

人は経験したことがないことをやっていると、それが強く意識に残り時間が長く感じます。反対に、慣れてしまっていることをやっていると時間の長さが気にならなくなり、あっという間に時間が過ぎたように感じます。そういう、子どもの頃は初めて体験することばかりで、毎日が新鮮で新しい出会いや発見があり記憶にも良く残っています。

しかし、大人になるにしたがって、新しい経験をやる機会が失われていきました。時間があつという間に過ぎ去ってしまったと感じるのは、日々の生活に新鮮味がなく、同じことを繰り返す生活に脳が慣れ、「今日も特に新しいことがない一日だった」として記憶にも残らず、あっという間に時間が過ぎたという感覚に陥るからだと思います。

そしてこの法則の恐ろしいことには、どんなに長生きしても二十歳を過ぎると時間が経つのがどんどん速くなっていくことです。そういえば私も「三十歳すぎると時間の経つのがめちゃくちゃ早く」感じました。

心理的に時を短く感じる上に、特に何もしないと時間はあつという間に過ぎてしまいがちです。新しいことに積極的に挑戦して有意義に過ごし、今年も年末を迎えたいものですね。

投稿 ビリー

「ひよんなこと」から始まった犬との暮らし

以前は猫派であった私は猫アレルギーになり飼っていた猫が逝った後は時々、野良猫スポットを巡りおやつを与えることをしていた。犬を飼っている友人から「だったら犬を飼ったら!犬ならアレルギー大丈夫かもしれないし犬は人間みたいだよ!可愛いし癒されるから飼ってみたら」と勧められていた。犬はちよつとなあ...

考えている矢先に田舎暮らしの父親が亡くなった。その日から夫婦仲良くして父頼りだった母親は魂が抜けたかのように途方に暮れた日々を過ごすようになり「生きていても仕方がない」という言葉もたびたび発するようになっていた。横浜暮らしの私は母のことが心配で母の気持ち

が少しでも何かに向いてくれたらと考えた。小さいころ実家で犬を飼っていたことを思い出して私が飼うのは後回しにし、母の新しいパートナーに誕生日にサプライズで生後二か月の仔犬をプレゼントした。ところが一週間もしないうちに母から「私は、動物にはあまり興味がないから連れて帰ってくれ」と泣きが入った。やはり長年連れ添った父親代わりにはならなかったようだ。聞くと実家で昔飼っていた犬も父が世話し可愛がっていたと言いつつ、確かに母が世話をしていたところをあまり見たことがなかったこと、そして犬もあまり母には懐いていなかったことを*

*思い出した。そんなわけで母の相棒にと飼った仔犬を横浜に連れ帰ったその日から私の相棒になることになった。それから早二年が過ぎようとしている今、2匹目を迎え、今ではなんと多頭飼いなのだ。

猫派だった私だが今ではすっかり犬の虜になってしまった。猫も勿論かわいいが友人が言っていたように犬は一緒に暮らししているとまるで人間のような。人間の気持ちもわかるようで私が仕事で疲れて帰ると、寄ってきて「ママ、お疲れ様、大丈夫?」と本当に癒される。今はワンコとの生活で毎日が小さな幸せの連続である。



時々我が家に遊びに来る母親も、父親を亡くして三年たち一人暮らしになれたようだ。相棒になるはずだった私の犬達との暮らしぶりを見てその寵愛ぶりに呆れているが、四人(?)で一緒に散歩したり(母にとっては自分の健康のためかもしれない...)少しは犬の可愛さがわかりましたよ。私の母のように動物に興味のない人にも、少しでもかわいい相棒との暮らしを垣間見て、想像してもらえたらうれしく思う。



投稿 日向 夏美



安岡 伸の スマホ入門講座
2/22(火) 10:30~12:00
~ 講座内容 ~ 予約制・先着6名様
スマホの買い替え・重要メモの取り方
マイナンバーカードあれこれ などなど!
料金: 初めの方無料 リピーター500円
ご予約: 045-459-6088 まで!

脳を動かそう 四文字熟語

耳東 他人の意見や批評に注意を払わず、聞き流すことのとえ

初徹 初めに心に決めた志を最後まで貫きとおすこと

臥嘗 将来の成功を期して苦勞に耐える事

進歩 日に日に絶えず進歩すること (正解は次号で)

〔前回の答え: 画電点晴・断崖絶壁〕